

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和4年度 岐阜県立岐南工業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和5年 2月 9日 (木) 13時10分 ~ 14時40分
- 3 開催場所 岐南工業高等学校 校長室
- 4 参加者 学校運営協議会委員

会長	山口 禎一郎	山口鋼業株式会社	(欠席)
副会長	後藤 潤一	塩谷建設株式会社	
委員	磯野 靖彦	(株)濃尾エンジニアリング	
	粕谷 幸司	元PTA会長 (令和2年度)	
	川口 久義	元PTA会長 (令和3年度)	
	柴山 恭子	元PTA副会長 (令和2年度)	
	正村 美里	岐阜県美術館	(欠席)
	透 千保	アナウンサー	

学校側	各務 友浩	学校長
	柴田 祐一	教頭
	新田 雄一	事務長
	福永 繁隆	教務主任
	三輪 照導	生徒指導主事
	東松 宏明	進路指導主事
	野田 政宏	工業部長

5 会議の概要 (協議事項)

- (1) 「課題研究発表会」参観 (体育館) 学科毎にブースをつくり10分程度のプレゼンを行う

意見1 : 自動車科の製作ではトランク内の電気の常時点灯しているライトの調整やアブソーバー交換の苦勞が見受けられ、大変良かった。

意見2 : 電気科のエアホッケー製作では文化祭で教室に展示してあった完成版なのか? と思い詳しく構造を質問した。急な質問にも詳細かつ丁寧な受け答えができていた。今後は進化版として、センサー等を用いて得点が自動でカウントするようになれば、さらに精度が上がった作品になると思いました。

意見3 : 電子科はゴミとして捨ててしまう電線を資源として再利用できる剥離機、便利なものを作成したと感心した。今後、外皮と芯線を分離できる仕組みを考え、両方が合体したものが出来ると製品になると思う。

意見4 : 各科共、創造性と実用性、専門的かつ実践的な内容を掲げた内容で、こちらが勉強になりワクワクさせていただいた。実務的な内容や手間を省くための知識を盛り込んだ内容など丁寧に発表していました。知識を活用した創造性ある発表内容も目を惹き、勉強になりました。

意見5：機械科のガンダムをかたどった電卓は発表後に実際に触らせてもらい、質問した事をわかりやすく説明してくれました。

(2) 本校の取組について各分掌から書面で報告

意見1：ここ数年、コロナ禍のために色々なことが制限され難しい中で、生徒さんが希望の進路に進めるよう、今後のご指導をよろしくお願いします。

意見2：挨拶運動はとても良い取組だと思う。社会に出ても朝の挨拶で始まり、帰りの挨拶で終わるという行為が日常的に行われる社会が適切であると思う。今後もこの活動は継続していただきたい。また、基礎学力をつける為の朝学習は効果的だと思います。今後も継続してもらいたい。

(3) 自己評価・学校関係者評価について書面で報告

意見1：生徒対象アンケートと保護者対象アンケートに差があると感じた。コロナ禍で保護者が学校の様子を知る・見る機会が少なくなったことが要因ではないかと思う。コロナによる規制が緩和された後は是非授業参観等を再開して欲しい。

意見2：今後の課題としてあげるのであれば、始めと終わりの挨拶や、他者が発表しているときの傾聴する姿勢、主体的で伸び伸びとしていることは良いが、外部から来客があるときには注意をはらう、切り替えることができるような指導も大切であると感じました。本日の発表でも優れた技術を持つ生徒が多く、就職率が高いことも納得しました。特に、建築分野での「BIM」という用語を知るだけでも勉強になり専門性の高さを感じました。

(4) 「教育指導の重点及び学校経営計画」について書面で報告

意見1：工業高校として存続していくには特色のある学校作りをして行く事が大事であり、既存の考え方にとらわれず、外部（若年層）の奇抜な意見を聞く機会を設けるなど、柔軟な発想を持たないと厳しいと思う。普通科志向でなく、岐南工業へ行けば専門大学へ行く近道であり、専門技術が早く習得できるという環境を作れば、もっと魅力的は高校になる。日本の物づくりの未来は専門教科が学べる、工業高校が担っていかねばと思う。

意見：2この学校の生徒であること、卒業しても学校の自慢がきるようなご指導を今後もよろしくお願いしたい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、生徒が本校で学習した3年間の集大成として行う「課題研究全校発表会」の参観を行った。特に本年度は新しい取組として、学科毎のブースを設営し10分程度でのプレゼンを行うこととした。参観後には多くの意見をいただいた。今後、本校が進むべき方向性を考えるにあたり、参考になることばかりであった。本校の取組や、自己評価、学校関係者評価、にも肯定的な意見、建設的なご意見をいただきました。来年度の「教育指導の重点及び学校経営計画」にも賛同していただきました。本校の教育活動に対して多くの委員からいただいた意見をいかしよりよい学校運営を目指す予定である。